

令和3年度 岡崎市美術品等収集委員会会議録

- 1 開催日時
令和3年12月16日（木） 午後2時～午後3時50分
- 2 開催場所
岡崎市美術博物館作業室及び収蔵庫等
- 3 出席委員
神谷浩委員長・石崎尚委員・高橋秀治委員・山田美佐子委員・吉田俊英委員
- 4 説明のため出席した職員
榊原悟特任館長
手嶋俊明社会文化部長
美術博物館
鈴木智子館長・大澤一実学芸係長・酒井明日香主査・今泉岳大主査・
田中裕紀乃事務員
地域文化広場
三宅葉子館長・真山陽理子事務員
美術館
村松和明館長・原林基昭副館長
- 5 会議の成立
委員5名全員が出席のため、岡崎市美術品等収集委員会設置要綱第4条第2項の規定により、会議の成立を確認した。
- 6 会議の公開・非公開について
岡崎市情報公開条例第7条に規定する非開示情報を取り扱うため、本会議について非公開とした。
- 7 会議の内容
収集候補資料14件（寄附3件、寄託11件）について、収蔵庫等にて資料を実見し、美術博物館職員、地域文化広場職員、美術館職員が説明した。
審議の結果、上記の資料全14件について、全会一致で収集が妥当との結論が出た。委員の意見等は以下のとおり。

【寄附資料】

調書番号1-1「ベルナール・ビュフェ《マルドロールの歌Ⅰ・Ⅱ》はじめ9件」
ベルナール・ビュフェは20代で名声を得たが、晩年にはかつての自分の表現から脱却できず苦しんだ。9件の版画集はどれも、晩年より前のよい時期の作品である。受け入れに異議なし。

調書番号2-1 「畠中光享《万年筆工場》はじめ8点」

活用にあたっては、画家としての作品とあわせての展示が期待できる。館のコンセプトに合致する作品であり、受け入れに異議なし。

調書番号3-1 「伊津野雄二《Alba(アルバ)》」

本の表紙に掲載されており、一般の方にも認知されているという点でもよい作品である。地元で活動されてきた作家の作品であり、受け入れに異議なし。

【寄託資料】

調書番号4-1 「長谷川利行《富嶽遠望》はじめ11点」

作品の質に問題はなく、受け入れに異議なし。

調書番号4-2 「森口華弘《友禅帯》」

調書番号4-3 「森口邦彦《友禅訪問着「山峡」》」

調書番号4-4 「志村ふくみ《紬織着物「東雲」》はじめ2領」

調書番号4-5 「北村武資《羅帯》はじめ2点」

調書番号4-6 「鈴木滋人《木版摺更紗帯「残映」》」

調書番号4-7 「土屋順紀《紋紗織帯地「藻流」》」

調書番号4-8 「松原利男《長板中形着尺「竹紋」》」

調書番号4-9 「片野元彦《絞着物》」

調書番号4-10 「森山虎雄（2代）《久留米緋反物》」

調書番号4-11 「小林敬子《絵緋着物「うつりゆく季」》はじめ24点」

作品の質に問題はなく、染め・織りともに様々な技法の作品が集められておりコレクションとしてもよいものである。受け入れに異議なし。